

射水市立大門中学校活動報告

◆活動取り組みの紹介

【挨拶運動】

- ・通年 7：50～8：05
- ・生徒会執行委員が中心となって行っている。
- ・春と秋に一回ずつ、PTAにも協力していただき、合同で挨拶運動を行った。秋の合同挨拶運動の際は、地域の小学校にも出向いて、小学校とも合同で実施した。



【書き損じはがきと古切手回収】

- ・12月15日～1月15日
- ・ボランティア委員会が中心となって全校生徒に呼びかけて書き損じはがきと古切手の回収を行った。
- ・集められた書き損じはがきと古切手は、ユネスコ協会を通して寄付した。

【校内年賀状交換会と能登半島地震義援金】

- ・12月7日（木）～19日（金）
- ・校内で年賀状を販売し、生徒同士で交換した。その売上金を募金に充てることとしていたが、能登半島地震が発生したため、能登半島地震への義援金を送ることにした。
- ・射水市社会福祉協議会を通して41,570円寄付した。

◆活動を終えて

たくさんの方がボランティアに参加してくれた。特に赤い羽根共同募金では、参加していただいた人が多かったことがとてもうれしかった。文化活動発表会に行ったこともあり、保護者の方や生徒、先生方からもたくさんの募金をいただくことができた。来年度もボランティア活動を継続し、もっと多くの人に参加してもらえるように工夫していきたい。

◆最後にひとこと

令和5年度は新型コロナウイルス感染症によるさまざまな制限が解除され、さまざまな活動を行えるようになった。文化活動発表会では保護者に募金を呼びかけたり、挨拶運動では地域の小学校に出向いたりすることができた。活動の幅が広がることにより、参加者も増え、生徒たちが意欲的に活動に取り組む様子がみられるようになった。また、能登半島地震をきっかけにして、ボランティアの在り方について考える機会にもなり、ボランティアの重要性に気づく生徒が増えたようである。来年度は、今年度の取組をさらに発展させ、ボランティアがより身近になるような取組を実践していきたい。